

便利な浄化センター

豊留

愛梨

五月三十日に、洛西浄化センターに見学に行きました。

見学して学んだ中でわたしが紹介したいところが三つあります。一つ目は浄化センターについて、二つ目は分かったこと、考えたこと、三つ目はわたしにできることです。

まず一つ目、浄化センターについてです。家庭や工場から出たよごれた水は、下水道管を通して浄化センターに行きます。まずよごれた水がいく場所は、沈砂地で、そこで砂をしずめます。次に、最初沈殿地で、どろをしずめ、生物反応槽で、微生物がよごれをとんとん食べます。そして、最終沈殿地で、活性汚泥をしずめます。最後に急速ろ過地で、塩素をふれて消毒したふよごれていった水がきれいになるようになります。微生物は水をきれいにするために大切な働きをします。微五物は水をきれいにするために大切な働きをします。

また、最初殿地でしずめたどろを八百五十

この焼却炉で燃やして炭や灰にしたり、火力発電所のねん料ねんりょうやセメントにします。

一見すてえじまひそらなるとも燃やし、リサイクルしていて地球に優しいなあと思ひま

た。ニつ目は、私がかつたこと、考えたこと

に、ついてです。水がきれいになるまでは時間がかかるといふことが分かりました。びっく

りしたことは、水は地球をぐるぐる回って、い

るといふことです。よごれた水は下水道管を

通して浄化センターに行き、きれいになっ

た。水は川に流されます。下流ではその川の水を

引き上げて浄水場で、飲めるようにします。

トそうしてできた水道水は、わたしたちの元

に戻ってくるといふことが分かって驚きました。

考えたことは、浄化センターが無かつた

どうなるかという事です。もしも浄化セン

ターが無かつたら、よごれた水が川や海に流

れてしまひ、自然が悪くなつてしまひます。

かんきょうが悪いと人は病気になるてしま

たり、海や川にいる魚や木木に
もえいきょうがでてしまします。もろろ人
にもえいきょうがでてしまうため、浄化セン
ターはとても大切だと考えました。
三つ目は、わたしにできることについてで
す。わたしにできることは、水の使いすぎに
は注意することです。二つ目は、微生物が
べつれない油や強い薬品などは流
さないようにきをつけようと思ひます。あ
は、水の大切さを家族や友人、おばあさんや
おじいさんなどに教えようと思ひます。
わたしは社会見学に行つて知つたこと分か
つたことは、浄化センターは便利で大切だと
いうことが分かりました。浄化センターは、
生活で有効に使われていると分かりました。
わたしは、水の大切さを一人でも多くの
人に教えていきたいなと思ひています。
わたしは、水をきれいにする仕組みが初め
て分かりました。どろを燃してセメントやね
ん料にリサイクルするを知つてすごいなあ
と

思いました。
考えたことは、水が無かったら野さりや植
物も育たな^らたり、野さいかあまり育たな^らか
ら^らた^ら動物も弱^らたりし^らえ^らしま^らい^らま^らす^ら。た^らか
ら^ら水は、とても大切だと考えました。
家でできることは、雨水をためて花や植物
の水やりの水に使^らたりすることかできると
思いました。
社会見学で学んだことをこれからの生活に
生かして、水を大切に使^らてい^らま^らす^らと思^らい
ます。

長岡第九小学校 四年 二組